

関交企第166号
令和6年3月28日

各地域公共交通確保維持改善事業
実施協議会 会長 殿

関東運輸局長
(公印省略)

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

標記について、地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成23年4月1日付け、国総計第5号、国鉄財第4号、国鉄業第4号、国自旅第20号、国海内第8号、国空環第5号）8.（1）②の規定に基づき、地域公共交通確保維持改善事業に係る二次評価を実施しましたので、評価結果を通知します。

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和5年12月25日

協議会名：上里町地域公共交通活性化協議会	
評価対象事業名：地域内フィーターシステム確保維持費国庫補助金	

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
株式会社協同バス	中央ルート 北部ルート 南部ルート	・利用者アンケート調査、利用者OD調査については、実施した。 ・高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料パスについては、交付対象者要件の変更により、発行件数が大きく伸び、利用者の増加に繋がった。また、例年1回開催している交通安全講習会を3回開催し、高齢者の交通安全を啓発するとともに、バスの利用案内を積極的に実施した。 ・駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、次期公共交通の運行形態について検討していくため、住民を対象としたワークショップを開催した。	A	事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。	・高齢者無料バス交付者数の増加に伴い、高齢者のバス利用者が一層増加するよう、利用者ニーズに対応した「わたしの時刻表」の活用を周知し、バス利用を積極的に促していく。 ・駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、新たな地域公共交通計画の策定（令和7年3月策定予定）を進めるとともに、次期公共交通の運行形態についても準備を進めていく。
			事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ①年間利用者数 20,550人 ②高齢者無料パスの発行件数 102件 【実績】 ①年間利用者数 17,714人 ②高齢者無料パスの発行件数 262件 【分析】 利用者は目標値の達成に至らなかったが、昨年（14,489人）よりも約2割増加し、新型コロナウイルス感染症拡大以前の利用者数より多かった。 高齢者無料パスについては、令和4年9月に対象年齢の引き下げに伴い発行件数が大きく伸びた。	

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	高齢者無料バス発行の取組や住民ワークショップ開催について取り組まれ、高齢者無料バスの発行件数の目標達成されたことを評価する。一方、年間利用者数の目標は未達成となったが、利用者数は増加傾向であり。更なる利用促進を積極的に進めていただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	--